



写真③ 黄化えそ病 写真② 退緑黄化病



写真④ 黄化えそ病 (果実被害)



テクニカルダイアリー



雑草対策の基本は水管理

水稲の雑草対策では、水管理が最も重要です。水持ちの悪い圃場では、除草剤が十分な効果を発揮できないだけでなく、薬害の危険性も高まります。初中期一発剤を使用する際は、散布後3〜4日間は湛水状態を維持しましょう。

剤型は作業に合わせて選択

初中期一発剤には粒剤やフロアブル剤のほか、畦畔から投げ込めるジャンボ剤や水口処理が可能な顆粒剤など、さまざまな剤型があります。剤型によって効果に差はありませんが、使用方法が異なる場合があります。特にフロアブル剤は、田植え同時処理ができないものがあるので注意が必要です。作業方法に合わせて剤型を選択しましょう。

水口処理で散布を省力化

「コメット顆粒」と「ディオーレ顆粒(※新剤)」は水口からの流し込みも可能です。散布方

前作の振り返り

前作を振り返ってみると、退緑黄化病や黄化えそ病の発生が目立ちました。中には水稲作業と重なり手が回らない状況で、被害が拡大してしまった圃場も見受けられました。病害の特徴を把握して的確な防除を行います。

退緑黄化病(写真②)

タバココナジラミが媒介する病気です。下段から上段へと葉の黄化が進行していき、草勢が

病害対策

これらの病気を治療する方法はないので、病気にかからないための害虫防除が大切です。次の項目と表②を参考に防除を行います。

- 定植時の初期防除を徹底する(ベストガード粒剤、ベリマールSCなど)。
- 目合い0.4ミ以下の防虫ネット

低下して収量が減少します。症状は葉に出やすく、果実にはあまり見られません。

黄化えそ病(写真③)

ミナミキイロアザミウマが媒介する病気です。生長点付近の葉からモザイク症状が現れ始め、葉だけでなく果実にも退緑斑点やモザイク症状が現れます(写真④)。

漏水田では中後期剤を活用

水持ちの悪い圃場では一発



写真① 顆粒剤の散布

法は、付属のネットに薬剤を入れて水口にセットしたら、薬剤が溶けて広がるまで入水し続けます(写真①)。入水時間の目安は満水状態から始めた場合、30分の圃場で30分以上です。使える圃場は限られますが、条件さえ合えば手間が少なく使いやすいため、使い続けている生産者もいます。パイプライン等が整備されていて、水の出入りが自由になる圃場にお勧めの除草剤です。

ジャンボタニシ対策の注意点

● 薬剤の散布時期に注意
「スクミノン」などの殺貝剤は、散布した薬剤に引き寄せられたジャンボタニシが、薬剤を食べることで効果を発揮します。ジャンボタニシの発生状況を確認し、散布してください。

降雨後は特に警戒

● 降雨後は特に警戒
昨年5月下旬に被害が増えました。これは気温の上昇に

除草剤が効果を発揮しにくく、雑草が残ってしまった場合は中後期剤の散布をお勧めします。中後期剤は一発剤に比べて、生育の進んだ雑草に効果を発揮します。薬剤によって対象とする雑草が異なりますので、発生した雑草に合わせて薬剤を選びましょう(表①参照)。

表② アザミウマ類およびコナジラミ類に登録のある薬剤

系統	薬剤名	アザミウマ類	コナジラミ類
ピレスロイド系	アグロスリン乳剤	㊟	㊤
マクロライド系	アフーム乳剤	●	●
I GR系	カスケード乳剤	㊟	
スピノシン系	スピノエース顆粒水和剤	●	●
	ディアナSC	●	●
ネオニコチノイド系	スタークル顆粒水溶剤、モスピラン顆粒水溶剤	●	●
	ベストガード水溶剤、ダントツ水溶剤	㊟	●
その他	モベントフロアブル	●	●
	コテツフロアブル	㊟㊤	
	プレオフロアブル	●	

※収穫前日数と使用回数については、ボトル裏面に記載されている内容を確認してから使用してください。
 ※㊟…ミナミキイロアザミウマの登録、㊤…ミカンキイロアザミウマの登録、●…オンシツコナジラミの登録、●…アザミウマ類またはコナジラミ類の登録

3月の分析経過について

合計7点	
多成分一斉分析	1点
残留農薬分析点数	3点
	1点
	1点
	1点
	1点
土壌診断点数	合計28点

「営農情報メール」配信中!

作柄情報、病虫害対策、青果物概況、イベント案内など、営農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちらから(登録無料)



JA山武郡市の組合員ならご自分で登録できます。

- 系統の異なる薬剤をローテーションで散布する(同系統の薬剤を連用すると、ウイルスを保有した害虫ばかりが生き残る)。
- 栽培終了後はハウスを高温状態にして蒸し込み処理を行い、害虫を死滅させる。

表① 中後期除草剤

対象雑草	薬剤名
ヒエのみ	クリンチャー EW・1キロ粒剤、トドメMF乳剤など
広葉・カヤツリグサ科*	バサグラン液剤・粒剤
ヒエ + 広葉・カヤツリグサ科	アトトリ1キロ粒剤・豆つぶ250レプラス1キロ粒剤・ジャンボクリンチャーバスME液剤 ワイドアタックSC・1キロ粒剤など

※ホタルイ、オモダカ、クログワイなど

加え、降雨により水位が上昇し、ジャンボタニシの活動しやすい条件が整ったことが原因とされます。ジャンボタニシは深水を好みますので、多量の降雨が予想される場合は特に警戒が必要です。